

# 2008年3月期中間連結決算発表総合表

2007年10月30日  
 双日株式会社

## 決算の主要特徴点

◆経常利益および当期純利益は順調に推移  
 (括弧内は前年同期比)

売上高 2兆8,025億円 (+2,733億円/+10.8%)  
 ・煙草取引の伸長  
 ・海外向け自動車の取扱い伸長  
 ・エネルギー・金属資源の取扱い伸長

売上総利益 1,343億円 (+117億円/+9.6%)  
 ・海外向け自動車为好調  
 ・メタノール、肥料関連为好調  
 ・合板市況低迷により木材が減少

経常利益 532億円 (+68億円/+14.8%)  
 ・金利収支の改善  
 ・持分法による投資利益の増加

中間純利益 354億円 (+40億円/+13.0%)  
 ・特別損益ネット後の税引前中間純利益が増加

◆資本構造再編の完了

CB3,000億円の普通株式への転換完了(2007年7月3日)  
 ・優先株式買入れのために発行したCB3,000億円の  
 普通株式への転換が完了

優先株式の買入消却の完了(2007年9月28日)  
 ・買入対象としていた優先株式を全て買入消却完了  
 (発行総額 5,604億円、買入総額 3,429億円)

⇒対象となる優先株式の一掃による資本構造再編の完了

◆2008/3月期 業績見通し

中間期実績を踏まえ、通期の業績見通しを下記の通り  
 修正

08/3期通期見通し  
 4/27見通し 10/30見通し  
 売上高 5兆 5,800億円 ⇒ 5兆 6,500億円  
 営業利益 860億円 ⇒ 920億円  
 経常利益 920億円 ⇒ 1,000億円  
 当期純利益 600億円 ⇒ 650億円

(前提条件)  
 ・為替レート(¥/US\$) : 115  
 ・原油(Brent)価格(US\$/BBL) : 65

2008年3月期配当  
 普通株式に対する配当  
 中間配当 : 1株当たり 3円 50銭  
 期末配当(予想) : 1株当たり 3円 50銭

## 要約損益計算書

	当中間期			左記○部分の摘要	当期通期見通し	
	実績 a	前中間期 実績 b	増減 a-b		c	進捗率 a/c
売上高	28,025	25,292	2,733	売上高	56,500	50%
生活産業セグメント				生活産業セグメント	+1,659	
機械・宇宙航空セグメント				機械・宇宙航空セグメント	+508	
エネルギー・金属資源セグメント				エネルギー・金属資源セグメント	+482	
売上総利益	1,343	1,226	117	売上総利益	2,770	48%
(売上総利益率)	(4.79%)	(4.85%)	(-0.06%)	機械・宇宙航空セグメント	+96	
				化学品・合成樹脂セグメント	+57	(4.90%)
				建設・木材セグメント	-26	
人件費	-425	-415	-10	海外自動車子会社販売拡大に伴う経費増等		
物件費	-387	-354	-33			
減価償却費	-37	-33	-4			
(小計)	(-849)	(-802)	(-47)			
貸倒引当金繰入・貸倒償却	-12	-2	-10			
のれん償却額	-25	-29	4			
(販管費計)	(-886)	(-833)	(-53)		-1,850	48%
営業利益	457	393	64		920	50%
(営業利益率)	(1.63%)	(1.55%)			(1.63%)	
受取利息	73	73	0			
支払利息	-171	-196	25	有利子負債圧縮、調達環境改善による金利収支良化		
(金利収支)	(-98)	(-123)	(25)			
受取配当金	24	35	-11			
(金融収支)	(-74)	(-88)	(14)			
持分法による投資利益	166	116	50	農業関連会社(+30)、ニッケル生産会社(+19)		
その他営業外収益	67	100	-33			
その他営業外費用	-84	-57	-27			
(営業外収支計)	(75)	(71)	(4)		80	94%
経常利益	532	464	68		1,000	53%
有形固定資産等売却益	8					
投資有価証券売却益	76			農業関連会社および上場株式売却益等		
出資金売却益	1					
貸倒引当金戻入益	16					
過年度償却済債権取立益	1					
(特別利益小計)	(102)	(77)	(25)			
有形固定資産等売却・除却損	-7					
減損損失	-5					
投資有価証券売却損	-3					
投資有価証券評価損	-28					
関係会社等整理・引当損	-23					
事業構造改善損	-46					
(特別損失小計)	(-112)	(-124)	(12)			
(特別損益計)	(-10)	(-47)	(37)		-50	-
税引前中間純利益	522	417	105		950	55%
法人税等	-100	-88	-12			
法人税等調整額	-39	2	-41			
少数株主利益	-29	-17	-12			
中間純利益	354	314	40		650	54%
基礎的収益力	561	423	138			

## キャッシュ・フローの状況

	当中間期		前中間期
	実績	実績	
営業活動によるCF	211	65	
投資活動によるCF	-84	-2,624	
(フリー・キャッシュ・フロー合計)	(127)	(-2,559)	
財務活動によるCF	-929	1,209	
現金及び現金同等物の期末残高	3,901	3,698	

(注1) 基礎的収益力  
 基礎的収益力=営業利益(貸倒引当金繰入・貸倒償却控除前)  
 +金利収支+受取配当金+持分法による投資利益

(注2) 将来情報に関するご注意  
 上記の業績見通しは、現在入手可能な情報から当社が現時点で合理的  
 であるとした判断、および仮定に基づいて算定しております。従い、  
 実際の業績は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動などさまざ  
 まな重要な要素により、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。  
 重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせ  
 します。

## 要約貸借対照表と主要経営指標

	07/9月末			左記○部分の摘要
	残高 d	07/3月末 残高 e	増減 d-e	
流動資産	16,530	16,151	379	
現金及び預金	3,955	4,716	-761	優先株式買入消却による減少
受取手形及び売掛金	7,046	6,727	319	海外自動車子会社の売上伸長に伴う増加
有価証券	102	72	30	
たな卸資産	3,825	3,159	666	海外自動車子会社、肥料子会社の売上伸長に伴う増加 販売用不動産の増加、冬用衣料の増加
短期貸付金	171	232	-61	
繰延税金資産	78	86	-8	
その他の流動資産	1,500	1,306	194	
貸倒引当金	-147	-147	0	
固定資産	10,119	10,009	110	
有形固定資産	2,506	2,300	206	石油設備およびリース用資産の増加
のれん	703	699	4	
無形固定資産	385	292	93	
投資有価証券	5,121	5,186	-65	
長期貸付金	380	393	-13	
固定化営業債権	1,530	1,623	-93	
繰延税金資産	206	197	9	
その他の投資	491	499	-8	
貸倒引当金	-1,203	-1,180	-23	
繰延資産	34	35	-1	
資産合計	26,683	26,195	488	
流動負債	14,142	12,195	1,947	
支払手形及び買掛金	5,877	5,315	562	煙草取引、化学品等取引拡大に伴う増加
短期借入金	5,337	5,011	326	
コマーシャルペーパー	330	100	230	
社債(1年内償還)	660	9	651	
その他の流動負債	1,938	1,760	178	
固定負債	6,950	8,684	-1,734	CB転換による減少(-750) 1 year組替え(-660) 普通社債の発行(+350)
社債	1,415	2,455	-1,040	1 Year組替えによる減少等
長期借入金	4,922	5,602	-680	
退職給付引当金	207	225	-18	
その他の固定負債	406	402	4	
負債合計	21,092	20,879	213	
資本金	1,603	1,228	375	CB転換による増加(+375)
資本剰余金	1,522	1,586	-64	CB転換による増加(+375)、利益剰余金からの振替(+581)、 優先株式買入消却による減少(-1,020)
利益剰余金	1,165	1,472	-307	中間純利益(+354)、支払配当(-80) 資本剰余金への振替(-581)
自己株式	-1	-1	0	
(株主資本)	(4,289)	(4,285)	(4)	
その他有価証券評価差額金	982	943	39	
繰延ヘッジ損益	15	6	9	
土地再評価差額金	-26	-19	-7	
為替換算調整勘定	-134	-329	195	
(評価・換算差額等)	(837)	(601)	(236)	
少数株主持分	465	430	35	
純資産合計	5,591	5,316	275	
負債純資産合計	26,683	26,195	488	
GROSS有利子負債	12,664	13,177	-513	
NET有利子負債	8,709	8,461	248	
NET負債倍率	1.70倍	1.73倍	-0.03倍	NET負債倍率の分母及び自己資本比率の分子は、 少数株主持分を除いて計算しております。
自己資本比率	19.2%	18.7%	0.5%	

2008年3月期 中間連結決算発表総合表 補足資料(1) -事業セグメント別売上総利益・経常利益実績-

2007年10月30日

双日株式会社

(単位：億円)

	売上総利益				経常利益			
	07/9期	06/9期	(増減)	主な増減理由	07/9期	06/9期	(増減)	主な増減理由
	実績	実績			実績	実績		
機械・宇宙航空	342	246	96	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車は海外自動車事業の伸長により増益(+58)</li> <li>情報機電は機械関連子会社、双日本体でのプラント設備取引の好調により増益(+16)</li> <li>船舶は保有船事業、船用機器取引等全般的な好調により増益(+18)</li> </ul>	106	69	37	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車、情報機電、船舶での売上総利益の伸長により増益</li> </ul>
エネルギー・金属資源	201	211	▲10	<ul style="list-style-type: none"> <li>石油・ガスはガス価格の低迷に伴う生産量減少により減益(▲6)</li> <li>石炭は滞船料等一時的なコスト増により減益(▲14)</li> <li>金属資源は生産、価格がともに順調に推移したことにより増益(+5)</li> </ul>	190	171	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニッケル生産会社を始めとする持分法適用会社の好調により売上総利益の減益をカバーし増益</li> </ul>
化学品・合成樹脂	284	227	57	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学品は肥料の海外子会社における販売量増加に加え、メタノールの価格上昇および販売好調により増益(+56)</li> </ul>	107	23	84	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上総利益の増益に加え、農業関連の持分法適用会社の収益改善により大幅増益</li> </ul>
建設・木材	90	116	▲26	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンションは前期比、引渡案件減少により減益なるも、卸売りビル売却収益の影響により横ばい</li> <li>木材は国内合板需要の低迷により販売が伸び悩み減益(▲27)</li> </ul>	2	38	▲36	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材の国内合板需要低迷により大幅減益</li> </ul>
生活産業	188	192	▲4	<ul style="list-style-type: none"> <li>繊維はアパレル子会社での春夏物衣料販売不振により減益(▲7)</li> <li>物資は煙草、製紙用チップの取扱増加により増益(+8)</li> <li>食料は鮭の在庫販売での採算低下等により減益(▲4)</li> </ul>	4	13	▲9	<ul style="list-style-type: none"> <li>主として繊維の衣料品販売不振により減益</li> </ul>
海外現地法人	139	133	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州は合成樹脂、エネルギー関連取引等の好調により増益(+2)</li> <li>中国は化学品の好調により増益(+2)</li> </ul>	66	70	▲4	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外の人員増強等による販管費の増加に伴い減益</li> </ul>
その他	99	101	▲2	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね横ばい</li> </ul>	57	80	▲23	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業情報グループでの前期一過性のプラス要因(投資育成企業株式売却益)があったことに伴う減益</li> </ul>
合計	1,343	1,226	117		532	464	68	

2008年3月期 中間連結決算発表総合表 補足資料(2) - 通期見直し -

2007年10月30日  
双日株式会社

(単位: 億円)

P/L

	07/9期 実績	06/9期 実績	増減	08/3期見直し (07/4/27公表)	進捗率
売上高	28,025	25,292	+ 2,733	55,800	50.2%
売上総利益	1,343	1,226	+ 117	2,740	49.0%
(売上総利益率)	(4.79%)	(4.85%)		(4.91%)	
機械・宇宙航空	342	246	+ 96	605	56.5%
エネルギー・金属資源	201	211	▲ 10	435	46.2%
化学品・合成樹脂	284	227	+ 57	460	61.7%
建設・木材	90	116	▲ 26	280	32.1%
生活産業	188	192	▲ 4	450	41.8%
海外現地法人	139	133	+ 6	270	51.5%
その他	99	101	▲ 2	240	41.3%
販管費	▲ 886	▲ 833	▲ 53	▲ 1,880	47.1%
営業利益	457	393	+ 64	860	53.1%
(営業利益率)	(1.63%)	(1.55%)		(1.54%)	
営業外損益	75	71	+ 4	60	125.0%
経常利益 <sup>(※1)</sup>	532	464	+ 68	920	57.8%
(経常利益率)	(1.90%)	(1.83%)		(1.65%)	
機械・宇宙航空	106	69	+ 37	155	68.4%
エネルギー・金属資源	190	171	+ 19	335	56.7%
化学品・合成樹脂	107	23	+ 84	85	125.9%
建設・木材	2	38	▲ 36	100	2.0%
生活産業	4	13	▲ 9	60	6.7%
海外現地法人	66	70	▲ 4	125	52.8%
その他	57	80	▲ 23	60	95.0%
特別損益	▲ 10	▲ 47	+ 37	▲ 50	-
税引前当期純利益	522	417	+ 105	870	60.0%
当期純利益	354	314	+ 40	600	59.0%
基礎的収益力 <sup>(※2)</sup>	561	423	+ 138	900	62.3%

経常利益の足元の状況

◎ 中間決算実績は532億円と好調に推移し、通期見直しを1,000億円へ修正

【機械・宇宙航空】

・自動車、情報機電、船舶を中心に好調を維持

【エネルギー・金属資源】

・金属資源は生産、価格が引続き順調に推移しており好調

・石油・ガス・LNGはガスの生産量減少、石炭は滞船料等一時的なコスト増などにより減益

【化学品・合成樹脂】

・肥料は原料高により下期は減益となり、一方でメタノールの市況が高値で推移する見込みにより全体としては引続き好調

【建設・木材】

・建設は下期販売集中にて回復の予定

・木材は国内合板需要の回復が遅れ不調

【生活産業】

・繊維物資はアパレルでの衣料品販売不振の影響により不調

【海外現地法人】

・海外全体を通して見直し通り

【その他】

・資金調達コストの改善

08/3期修正見直し (07/10/30公表)
56,500
2,770
(4.90%)
700
435
500
230
410
270
225
▲ 1,850
920
(1.63%)
80
1,000
(1.77%)
190
360
140
65
30
125
90
▲ 50
950
650
1,030

(※1) 経常利益の事業セグメント別内訳は社内管理ベースの参考数値です

(※2) 基礎的収益力 = 営業利益(貸倒引当金繰入・貸倒償却控除前) + 金利収支 + 受取配当金 + 持分法による投資利益

B/S

	07/9末	07/3末	増減	08/3末修正見直し (07/10/30公表)
総資産	26,683	26,195	+ 488	26,700
自己資本 <sup>(※3)</sup>	5,126	4,886	+ 240	5,200
(純資産合計)	(5,591)	(5,316)	(+ 275)	-
自己資本比率(%)	19.2%	18.7%	+ 0.5%	19.5%
ネット有利子負債	8,709	8,461	+ 248	9,100
ネットDER(倍)	1.7	1.7	-	1.8
(ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	(1.6)	(1.6)	-	-

(※3) 自己資本 = 純資産合計 - 少数株主持分